

2021年7月21日(水)

SYNCHRO の入退出管理ソリューションが、 セキュアIoTプラットフォーム協議会の セキュリティ基準に適合

～国際標準を基にしたIoTセキュリティ評価プログラムへ向けて～

一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会（理事長：辻井 重男、所在地：東京都港区、以下、SIOTP 協議会）は、国際標準規格に基づき「SIOTP 協議会セキュリティチェックシート」を策定し、パイロットとして、会員各社の保有する IoT 関連ソリューションを対象にセキュリティ実装の有効性評価を行ってまいりましたが、株式会社 SYNCHRO（代表取締役社長：室木 勝行、所在地：東京都千代田区）の入退出管理システム「VP-II X with KATABAMI」(*1)が当協議会の定める技術的な基準および運用基準に適合したことを発表いたします。

今回の評価は、国際標準規格である IEC62443 をベースに、実装レベルのセキュリティ仕様をまとめた「IoT セキュリティ仕様書 Ver1.0」(*2) (2020年11月に SIOTP 協議会より発行)に基づき、「SIOTP 協議会セキュリティチェックシート」を策定し、評価検証したものです。

特に「IoT デバイスの真正性の確保と識別」、「設計・製造から廃棄にいたるプロダクトライフサイクル管理」、「適切なファームウェアアップデート」など IoT システムに求められるセキュリティ対策が適正に実装され、さらに安全に運用を支援するため管理体制の整備や各種書類の文書化などセキュリティマネジメント観点においても適切に実行されていることを、そのエビデンスを含めて確認いたしました。

今後 SIOTP 協議会会員が保有する複数の IoT システムのパイロット検証により明らかになった標準仕様に追加すべき必要要件を洗い出し、「IoT セキュリティ仕様書 Ver1.0」へのフィードバックを行います。

あわせて来年度に向けて、標準化機関との連携も視野に、「SIOTP 協議会 IoT セキュリティ認定プログラム(仮題)」を立ち上げ、広く IoT システムやデバイスに対するセキュリティ実装の評価検証を行い、安全性が担保されているシステム、製品に対して認定マークを付与する取り組みを開始します。

●株式会社 SYNCHRO 入退出管理システム(*1)

SYNCHRO は、創業以来 20 年「手の甲静脈認証システム」を中心としたシステムを提供しています。他人受け入れ率 (0.0001%) 本人拒否率 (0.01%) と最高水準の認証精度でなりすまし入退出を防止しており、大手金融機関・官公庁・電力関係・データセンタを袖珍とした導入実績が約 14,000 システム/約 2,500 社 以上あります。

入退出管理機能としては統合管理ソフト (NetControl-X) が担います。個別のアクセス権限付与、イベント履歴、勤怠打刻管理、遠隔開錠などが可能で、静脈機器だけではなく、カードリーダー、直近は顔認証機器においても統合管理に対応しているソリューションになっています。

手の甲静脈認証装置 (VP-II X) と統合管理ソフト (NetControl-X) は IP 通信 で接続可能で、大規模・広域なシステムの構築も可能です。この IP 通信を、Internet 接続でもセキュリティを確保して実現するための仕組みが KATABAMI です。

KATABAMI は、暗号鍵と IP アドレスに数学的な繋がりを持たせるという方法で、IP 通信におけるなりすまし、中間者攻撃を原理的に封止できる特徴を持っており、インターネット上の仮想の閉域網を構築し高度なセキュリティを確保することが可能です。KATABAMI は、IP カメラ、IP-PBX、ビジネスチャット、Web 会議システムなど様々なシステムに適用されています。

●IoT セキュリティ仕様書 Ver1.0 (*2)

SIOTP 協議会「仕様検討部会」では、国際標準 IEC62443(特に IEC62443-4)を参考とし、IoT システムに求められる真正性の担保、設計から廃棄に至る安全なプロダクトライフサイクルの管理、安全なファームウェアのアップデートなどの実現を目指し、研究開発活動を展開。その成果として 2020 年 11 月に実装レベルの仕様をまとめた「IoT セキュリティ手引書 Ver1.0」をリリース。

<https://www.secureiotplatform.org/static/images/20201110.pdf>

【セキュア IoT プラットフォーム協議会について】

<https://www.secureiotplatform.org>

2017年4月に設立されたセキュアIoTプラットフォーム協議会はIoT機器の利用者が安心・安全にIoT機器やそのサービスを活用できるよう、全世界標準かつデファクトなセキュリティ基盤の構築を目指しています。日本産業界の知見を集めオープンイノベーションによりIoT機器の製造段階からクラウド環境でのサービスまでを包含したセキュリティ標準化の取り組みを推進しています。

【お問い合わせ先】

一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会 事務局

担当：江辺（えべ）、白水（しろうず）、瀬瀬（せせ）

メール：contact@secure-iot.org

URL：www.secureiotplatform.org